

放送日 平成30年2月1日(木)
担当者 都市整備課 織田 雅人

おはようございます。建設部都市整備課の織田です。

平成28年度に技術職員として入庁しました。

ところで、皆様は自分の仕事が好きですか。私は『橋を架ける』という夢を持ち、土木の道に進み、今の仕事をしています。一つの仕事を終えた時、完成した道路や公園を眺め、達成感と充実感を得ています。この仕事が好きなのだと思います。この仕事ができていること、周囲の皆様やこれまで出会ってきた人に感謝です。

私の進んだ土木ですが、多くの業種があります。設計するコンサルタント、実際に施工する建設会社、私達の様な仕事、その他にも専門的な技術を持つ会社や人、一つの工事に多くの土木技術者が携わっています。

土と木でものを造っていたことから土木と言われておりますが、土木技術は最も古い技術のようです。住居を造る時には地面を掘り、歩いて先に進むため、道を切り開き、時には木で橋を架けなければならない。古代から自然と必要になった技術なのでしょう。

皆様は『地図に残る仕事』という言葉や『子どもたちに誇れる仕事を』という言葉を目にしたことはありますか。大手建設会社のTVCMです。素晴らしい言葉です。

私の仕事も地図に残っていきます。多くの皆様に利用されるものを造っています。自分が造った道路や公園に自信を持ち、世に送り出すこと。先輩達のように、子供達や後世の人々、土木を志す後輩達に誇れる仕事をすることが、土木技術者の最も重要な使命だと考えています。

いつまでも、使命やプライドを持ち続け、自分の仕事、自分の現場を愛し、魅力的な仕事をしていきたいと思えます。皆様、今後ともご指導をお願い致します。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月2日(金)

担当者 都市整備課 守谷 強

おはようございます。建設部都市整備課緑化推進担当の守谷です。

まずは緑化推進担当として、市役所前の中央分離帯への花苗の植栽に際しては、休日の早朝5時からにもかかわらず、また、特に昨年はいいにくの雨の中、たくさんの職員の方の献身的な作業により春から秋にかけて毎年市役所前の美化が保たれていることに心より感謝申し上げます。

この後、何を話させてもらおうか?と考えた時に明日は節分なのでその話か、今日で郵便番号が7桁になって20年目だとか、まあさして話が膨らみそうにないので、全職員の担当業務である、今旬なボールパークの話題を少ししたいと思います。

さて、このBPですが市が誘致を正式に表明してから1年8ヶ月が経過しましたが、この間、特に全市民の先頭に立ち、時に裏方としても進めてきた企画財政部の方々、本当にご苦労があったことと思います。ゴールは目前ですので、ラストスパート頑張ってください。明日のボールパーク構想シンポジウムも、たとえ報道陣に押し出されてモニター視聴となったとしても参加させてもらいます。

私は、市内野球少年団の指導者をさせていただき今年で5年目となります。今月号の広報で団の子を表紙に使っていただき、ありがとうございました。また内容を見てもBPへの機運の高まりを感じます。今回の経験は、チーム北広島として市民も行政も心一つに一致団結出来たこと自体が大きな財産になったのではと感じます。

先週保育園の先生達もお話しておりましたが、指導者として私も気づいてあげる、褒めることを重要視して子供たちと接しております。特に誰が見ても出来ている子よりも、自信がない子が少しでも出来たその瞬間を見逃さないようにして、たくさん褒めます。その子のイキイキとした表情を見たときにやりがいを感じます。

話は変わりますが、今週末は「北広島ふれあい雪祭り」も開催されます。私も団の子どもたちと何う予定ですが、皆さんも是非、足を運んでいただき活気あふれるイベントになることを期待します。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月5日(月)

担当者 建築課 道見 嘉文

おはようございます。建築課の道見嘉文です。

奇しくも私に朝のスピーチの白羽の矢が当たりました。

私の場合、今年3月で定年となりますので、地方公務員

としての経験からスピーチしようと思います。市役所に就職して年数の若い方には理解不能の箇所もあるでしょうが、勘弁してください。

昨年市役所が新庁舎になりましたが、私が就職当時やっと電卓が普及しはじめ、それまでの業務はソロバンでした。当時は、現在のようにパソコンによる業務を想像すらできませんでした。現在の事務仕事は、ワード・エクセルでの作業が中心ですが、これから長い市役所人生を経験する方、特に若い人は、また別世界の業務処理を経験することと思います。やはり時代の流れのなかでさらに自己研鑽が怠れないと思います。

次に、私は事務職ですが、現在は建築課におりますので、PRを兼ねて建築に関してスピーチします。転勤のない地方公務員となった以上、個人的には一生の買い物として戸建住宅を建てるべきだと思います。戸建住宅は、マンションのように騒音や階下への水漏れ等を気にすることなく快適な生活ができます。私の近くでは、手間ヒマかけて立派な庭を造ったり、ピザ釜を手作りしたり、夏の間一生懸命、薪割りをしている人を見かけます。我が家は毎年夏になると家族・親戚を集めて焼肉パーティをします。戸建住宅を手にするには、一生懸命貯金しなければなりません。できれば、インフラが整備されて地価の安い北広島市に建築するのがいいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月6日(火)
担当者 土木事務所 伊藤 裕希

おはようございます。土木事務所の伊藤裕希です。

土木事務所では、市内の道路や河川などの維持管理業務、冬季の除排雪に関する業務など多種多様な業務を行っており、その中でも私は主に橋の補修工事や道路の維持管理に関する業務を担当しております。

普段何気なく利用するエルフィンパークは、JR北広島駅に隣接する駅舎のイメージが強いと思いますが、実は線路を挟んで東西を跨ぐ東西連絡橋という立派な橋なのです。その東西連絡橋は、一日平均乗車人数が7千人以上と道内で10番目に利用者が多いJR北広島駅と直結し、市民交流広場では、連日様々なイベントが開催されております。また、市民サービスコーナーでは戸籍や住民票の交付、市内施設の案内を行うなど多くの市民に利用される施設です。

その施設も建設後20年近く経過しているので天井からの雨漏りや出入り口扉が故障するなど小さな老朽化が目立つようになりました。そういった症状を自分の目で確認し、的確に原因を把握しなければなりません。そして、経済的かつ効果的な補修を行うために先輩職員に相談しながら検討を重ね、補修業務を行っております。

老朽化していく施設を維持するためには、日常の点検で危険と思われる事を見落とさないように注意をしておりますが、市民の方々の観察も大切です。快適な生活環境を維持できるよう市民の声に耳を傾けるとともに構造物に関する知識や経験を培い、健全な施設の維持に努めていきたいと思っております。最後に、市内の道路施設や橋などの異変を感じた時は、土木事務所までご連絡をいただければと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月7日(水)

担当者 農政課 佐久間 幸雄

おはようございます。農政課の佐久間です。

この前の日曜日、わな猟免許の試験を受けてきたので、今日はその話をします。

わな猟免許は、いわゆる鳥獣法に規定されている狩猟免許の1つで、試験に合格すると、法に定められている狩猟鳥獣を、わなを使って捕まえることができますようになります。実際には、このほかに狩猟者登録の手続などが必要になりますが、狩猟は農業被害を未然に防ぐうえで大変重要なものとなっています。

昨年の夏、エゾシカに食べ荒らされたカボチャ畑を目の当たりにしましたが、こんなにそっくり食い尽くすものかと圧倒されてしまい、農家さんの怒りや失望はいかばかりかと悲しい気持ちになりました。

試験の合間に、積丹半島で畑をやっている農家の方と話す機会がありました。その農家の方も、昨年の夏、スイカ畑をアライグマに食べ荒らされたとのことで、役場の職員がわな猟免許を持つということは、たいへん心強いとおっしゃってくれました。期待してくれる人がいるんだという実感で、後半の技能試験にも気合が入ります。

鳥獣の判別、通称「紙しばい試験」では、絵を見て5秒以内に狩猟鳥獣かどうかを試験官に伝えます。「捕れます、イタチ(オス)、テン、アナグマ、ミンク」イタチ科の獣(けもの)が多いのですが、残念なことに実物を見たことはありません。今のところ、教本に載っている絵でなければ判別不能です。

合否の通知は近日中です。不合格の場合もありますので、そっと見守っていただければ助かります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月8日(木)

担当者 観光振興課 千葉 啓

おはようございます。観光振興課の千葉です。

「気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。」

朝のスピーチは、いつもこの言葉で締めくくられています。本日は、この中の「心にいだく大志を結集する」ことについてお話しさせていただきたいと思います。

職員の皆さまは、心に大志をいただいているところだと思いますが、それを結集させるとなると、なかなか難しいところもあると思います。

私の所属する観光振興課では、毎年12月に、流行語大賞と称して、その1年で思い出に残っている言葉ですとか、印象に残ったエピソードの中で、1番を決めるという会を設けています。これは懇親会も兼ねて、ご飯を食べながら、そういう雰囲気の中で行うのですが、このイベントは大変だったとか、あの時は笑っただとか話しているうちに、自然とその1年を振り返ることができ、「次はこうしたい」、「こんなことがやりたい」という言葉が出てくることもあります。この言葉は、大志と呼べるほどのものではないかもしれませんが、こうやって周りの人の思いを知ることから、大志を結集することは始まるのかなと思います。

大志を結集するという事は、とても大変なことで、普通に日々を過ごしていても多分成し遂げられないことで、でもだからこそ、それができれば、周りが無理だと笑って否定するようなことでも、叶うはずがないと言われる夢も、実現するかもしれないと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月9日(金)
担当者 商工業振興課 宮本 大介

おはようございます。商工業振興課主査の宮本です。

今や日本が世界に誇るサブカルチャー「漫画」。皆さんはその「漫画の神様」と呼ばれた方をご存知でしょうか？若い方はご存知ないかもしれませんが「鉄腕アトム」の生みの親手塚治虫さんです。今日は、その漫画の神様、手塚治虫さんが亡くなった日なのです。

手塚治虫さんの描く漫画は、当時は画期的なものでした。例えば、今ではコマ割りで主人公の顔がアップになるなど当たり前ですが、当時は場面を横から俯瞰した舞台を見ているような描き方がほとんどでした。それをあたかも映画でも見ているようなコマ割りとしりふ回しでスピーディな展開で漫画を見せる手法を考え出し、生み出された代表的な漫画が「新宝島」という漫画です。

しかし、こうした手法は万民に受け入れられたわけではなく、当時の漫画家の大先輩の中には「こんな漫画は邪道だ。描くのは結構だがあんた一人にしてもらいたいもんだね」と言い放った方もいたといえます。

時として新しい考え方や方式は、理解を得られず批判されたり、受け入れられなかったりすることも多々あると思います。我々の業務も同じです。一度や二度批判を浴びたとしても、あきらめてはいけないのではないのでしょうか。長い目で見れば、それが市の業務の効率化に貢献し、ひいては市民サービスの向上につながるようになるかもしれないからです。

この「新宝島」に影響を受けた有名な漫画家は非常に多く、またその漫画家に影響を受けた方も少なくはないでしょう。もし手塚治虫さんが存在しなければ、「ドラえもん」「ドラゴンボール」も「ワンピース」も我々は目にする機会がなかったかもしれません。

それと同じように、我々のちょっとしたアイデアや考え方が後に大きな奇跡を生むことがあるかもしれませんね。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月13日(火)

担当者 業務課 佐々木 保彰

おはようございます。水道部業務課の佐々木保彰です。

私は、広い意味では鉄道を趣味としていますが、鉄道模型もしており、実物で約20mの車両を15cm弱に小さくした、「Nゲージ」という、家の中でも組み立て式のレールなどで走らせることができる程度の大きさのものをしています。

私は、Nゲージの車両は、買ってきたままの状態では省略されている細かい部品などを別に入れて取り付け、より実物に近く見えるように改造をするなどして楽しんでいます。その改造をするときには、注意しなければならないことがあります。というのも見た目を重視しすぎると、模型ならではの、実物よりはるかに急なカーブを曲がれなくなったり、細かすぎると部品がとれてしまいやすくなるなど、問題が発生するからです。いかに機能を確保した中で見た目を向上させるのかといったバランス感覚が重要です。これを誤ると、走らせて楽しむことができなくなってしまいます。

さて、ここまでは趣味の話でしたが、仕事においても、このようなバランスはとても重要だと感じています。必要な精度レベル、注目すべきポイントなどのバランスを意識して仕事をするよう、心がけているつもりです。とはいっても、このバランスの設定は、最初のものでうまくいかず試行錯誤を重ねることになってしまい、ときには調整前の方がよかったということも当然あります。仕事の場合は、そのバランスの中で、どのくらい時間をかけられるかという部分のウエイトが大きくなるので、より難しい部分もありますが、日々、最適を探ることを続けていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月14日(水)
担当者 水道施設課 金澤 尚也

おはようございます。水道施設課の金澤です。

今日は、業務課と水道施設課で行っている、水道事業内研修会についてお話ししたいと思います。

水道事業内研修会とは、業務課と水道施設課の2課5系の若手職員が集まり、月1回程度実施している研修会のことです。平成27年度の先進地視察をきっかけに平成28年2月から始まりました。研修会のテーマ設定から資料作成・発表、議事録の作成まで各係が持ち回りで担当しています。

同じ水道施設課であっても、担当が異なれば、業務内容がわからないことが多々あります。業務課の料金・庶務担当の業務となれば、なおさらどんな業務を行っているかわかりません。しかし、他の系の業務を共有することにより、担当以外の考え方を取り入れることで同じ業務を行う上でも見え方が変わってくるのではないかと考えています。

また、研修会では、担当を持ち回りで行っているため、担当業務などについて発表する場合があります。知っている人たちの前で発表を行うので、学会などよりも気軽な雰囲気の中でプレゼンでき、プレゼン力を高める良い機会にもなると考えています。私は、プレゼンが苦手なので、知識の共有の場としてだけでなく、どのように話すと相手が理解しやすいかなど、勉強していけたらと思っています。

今後とも、研修会を通して、情報の共有とプレゼン力向上に努めていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月15日(木)
担当者 下水処理センター 大平 芳久

おはようございます。下水処理センターの大平です。

私は、現在、再任用5年目にあたり、あと1か月余りで43年間の完全退職になります。

まず、仕事の内容についてですが、下水処理センターでは、下水道、生ごみ、し尿を受け入れて混合処理しています。このように、集めて処理している施設は、全国でもめずらしく、北海道では、北広島市だけです。汚水などを処理して、きれいな水にしていくと、大量の汚泥が発生します。この汚泥を処理するには、埋め立てたり、焼却したりすることが一般的ですが、市では、昭和51年から市内農業者の農地に還元、施用することで循環型社会の先進地になっています。

私の担当は、毎日、2トン生産される乾燥おでい肥料を組合員の農業者に配送する調整です。12月から3月までの間は、農地に搬入出来ませんので0.5トンのフレコンバックにて貯蔵しておき、4月から5月に農業者に配送します。4月から12月までの間は、1週間に14トン発生するおでい肥料を農業者それぞれの希望の時期と場所と数量に応じて委託により配送しています。

この業務で苦労していることは、お天気です。搬送予定日に雨が続くと搬送ダンブが圃場のぬかるみに埋まってしまい農家の方にトラクターでけん引をお願いしなくてはなりません。配送日の天候を心配するのがストレスです。次に、お知らせですが、下水処理センターでは、市民還元用の1袋9キログラムの乾燥汚泥肥料・「あしるのめぐみ」を4月15日日曜日と16日月曜日に1袋100円で1世帯10袋までの販売を予定しています。3月に下水処理センターへ電話で受付しています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月16日(金)

担当者 下水道課 深尾 大輔

おはようございます。水道部下水道課の深尾です。

今日は、土木技術職の私が、入庁してはじめての工事を発注する際に先輩職員から教わったことについてお話ししたいと思います。それは、「水は高いところから低いところにしか流れない」ということです。最初聞いたときは、『なんでこの先輩は当たり前のことを偉そうに、かつ、ドヤ顔で言っているのだろう』と思ったことを今でも覚えています。しかし、色々な工事を設計したり、施設の維持管理に携わるうちにその言葉の本質に気づく事ができました。

道路や公園などの公共施設を設計するにあたり、降った雨を速やかに排除する事は最も重要な要素のひとつです。もしこれが出来ていない場合、みなさんが利用する公共施設は水たまりだらけになってしまいますし、大雨が降った時には浸水被害の原因になってしまいます。

私が現在所属している下水道課では、家庭や事業所から排出される汚れた水を下水処理センターまで運ぶための汚水管、雨水を川に速やかに排除するための雨水管、大きく分けて2種類の管の整備・維持管理を行っています。

どちらの管も共通して言える事は、『水を高いところから、低いところ』へ効率的にかつ経済的に流せるように計画し、整備を行っていることです。

「水は高いところから低いところにしか流れない」

今は、その当たり前のことがどれほど難しいかを痛感し、また、その奥深さにやりがいを感じながら日々業務にあたっています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月19日(月)

担当者 契約課 木川 直也

おはようございます。契約課の木川です。

私事ですが、先日、父が還暦を迎え、2月いっぱいで退職になります。

約40年間働き続け、私を含め家族を支えてくれた父には、感謝してもしきれない思いとともに、越えることのできない偉大な父であると改めて感じました。

仕事一筋だった父が退職することに実感がわきませんが、これからは少しずつ自分が親孝行をしていかなければいけないと感じております。

私の話はさておき、契約課の川口課長も、私の父と同じ年であり、今年度退職を迎えるとのことでした。

いつも、気さくで課の先頭に立つことはもちろん、何年も先のことを見据えてのアドバイスや、若手職員の育成ということで、法や規則・要領に従いながら的確な指導を行う姿勢等、いつも勉強になることばかりでした。

私も来年度で入庁5年目となります。

こうした偉大な先輩から学んだことを活かし、自分自身も適正な契約事務の執行にあたるよう、日々公平・公正な目線で契約業務に当たるとともに、北広島市のまちづくりに少しでも貢献していきたいと思っております。

退職まで残り一か月半、約40日、時間にすると960時間、長いようで、短いです。

課長の元気な声が聞けなくなるのは少し寂しいですが、一秒一秒を大切に、多くのことを学び・吸収し、今後の人生に役立てていきたいと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月20日(火)
担当者 会計課 小松 正美

おはようございます。会計課の小松正美です。

私は、昭和59年に入庁しました。当時は女性職員が少なく、私の後に事務職の女性職員が入庁したのは昭和63年でした。同期で一番年少であり、長い間女性職員が少ない中で働いてきた私は、いつまでも若いつもりでいました。しかし、電話越しで緊張する声を聞くことや、緊張した面持ちで私と話す姿を見ることが多くなり、さすがの私も自分の立ち位置を自覚しました。

平成生まれの職員にとって、私は親世代です。先輩として立派な背中をしているだろうか、と考えると疑問符がたくさんついてしまいます。反面教師という言葉もありますので、私の言動に疑問符がついたときは「ああはなりたくない」と心の中でだけつぶやき、気持ちを引き締めてもらえたらと思います。

平成生まれの職員に限らず、若い職員の皆さんの仕事に対する姿勢を、私は見習いたいと思っています。わからないことがあるとさっとメモを取り出し、一言一句聞き逃さないとする姿は素晴らしいです。つらいこともあるだろうけど、仕事のことを一生懸命話してくれるのはとてもうれしいです。

自分はどうだったかなと自己嫌悪に陥りそうになりますが、そうではなく、元気いっぱい働いている姿勢も含めて、どんどん見習い、ともに成長していきたいです。

同期で今年初めて定年退職する方がいます。年齢を重ねるとともに時間が過ぎるのが早くなったので、私もあっという間に退職する年齢になることでしょう。退職するその日まで、成長の意欲を持ち続け、皆さんと仲良く働いていきたいと思しますので、よろしくをお願いします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月21日(水)
担当者 議会事務局 阿部 千明

おはようございます。議会事務局の阿部千明です。

突然ですが、昨日、平成30年第1回定例会が開会しました。来週28日には、代表質問が行われます。

議会は、どなたでも傍聴できますので、傍聴を希望される方は、ホームページや庁舎1階玄関などに掲載している議会日程をご覧ください、当日、市役所5階議会事務局にお越しください。また、イシヤカフェ前スペースでは生中継を、インターネットでは生中継及び録画配信をしておりますので、是非ホームページからご覧ください。

さて、話は変わりますが、今年は戌年ですので、私の大好きな犬に関するお話をしたいと思います。

皆さんは、人間よりも先に、犬が宇宙に行ったことをご存知ですか。実は1957年に打ち上げられた人工衛星には犬が乗っており、この打ち上げの成功により、人が乗ることができる宇宙船の開発につながりました。

このように、はるか昔から犬は人間と深くかかわっており、狩猟(しゅりょう)のパートナーとしてだけでなく、現在では警察犬や災害救助犬としても活躍しています。そして、ペットとして飼われている犬も、人間にとって癒しという非常に重要な役割を担っています。皆さんも体験したことがあると思いますが、犬や猫などの動物を見たり、触れたりすると、癒された気持ちになりますよね。実は、その時、私たちの体の中ではオキシトシンや、セロトニンなどのホルモンが分泌され、癒された気持ちになるのだそうです。ちなみにある実験では、動物と見つめ合うだけでもそれらのホルモンが分泌されたそうです。

皆さんも疲れた時は、ぜひ、動物に触れたり、見つめ合ったりしてリフレッシュしましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月22日(木)
担当者 農業委員会事務局 石川 正人

おはようございます。農業委員会事務局の石川です。

今時期の農家さんは、農地の貸し借りや売買のために、情報収集や契約内容の確認、この春からの作付の計画などで、忙しく動き回っています。

この農地についてですが、農家さんは昔から農地を子どもに細かく分け与えることを、田んぼを分けると書いて「田分け」といって、戒めてきました。

子から孫、ひ孫の代になっていくにつれ農地を持つ面積が小さくなり、家は衰退するとの教えです。

語源は、バカげたことを意味する「たわけ」をしゃれたものとされていますが、農地に対する農家さんの心情をよく表していると思います。

その「たわけ」が思わぬ形で増えています。相続登記をしないまま世代交代が進み、所有権が分散したケースを非常に多く見受けるのです。

農水省によると相続未登記は 恐れ も含めると全国の農地の二割 93 万ヘクタールにも及ぶとされます。九州の農耕地面積より多いとのこと。

登記の必要性を感じないのか、あるいは不在地主が増えたからなのか、理由は判りませんが 農地の貸し借りや売り買いの時 とても不都合です。

皆さんも農地に限らず、土地や建物を相続したら登記を漏らさず行ってください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月23日(金)
担当者 教育総務課 吉本 早貴

おはようございます。教育総務課の吉本です。

入庁して2年目になり、未熟なところを上司や先輩職員にサポートしてもらいながら、日々業務に取り組んでいます。

私の主な業務は、就学援助の手続です。これまで、窓口対応をほとんどしたことがなく、相手に分かりやすく伝えることや、相手が伝えたいことを汲み取る難しさを感じています。

そして、市民の皆様に対して誤ったことをお伝えできないので、迷った時は自分だけで判断せず上司に相談すること、また、市の規則や法令を調べ、確認することを心掛けています。

窓口では、他の課の手続や、市役所では取り扱っていない援助について聞かれることも多く、自分の課の仕事だけではなく市役所の仕事や社会の流れについて、ある程度のことは答えられなくてはならないと思います。そこは、自分の今の課題であるため、今後、視野を広げ幅広い知識を身につけていきたいと思います。

また、今は分からない時に、上司や先輩方が親身になって丁寧に教えてくださっていますが、自分が先輩職員になる日も近いと思いますので、今度は自分が人を支えられるような人間に成長していきたいと思います。

そして、自分の対応が、北広島市役所全体のイメージに繋がるという自覚をもって、業務に励んで参ります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月26日(月)
担当者 学校教育課 竹谷 智史

おはようございます。学校教育課の竹谷です。

今日は、私が日々の業務を行うに当たり心がけている「人を意識した仕事」についてお話ししたいと思います。

学校現場にとって、子どもたちに関わることは最も重要なことです。できるだけ多くの時間を子どもたちのために費やしたいものです。しかしながら、教育委員会から学校に対して調査や報告を求めることというのは少なくありません。ただでさえ忙しい学校現場にとっては大きな負担となります。

かつて私は、ある先生から「この様式は使いにくい。現場の苦勞を考えていますか?」と言われたことがあります。そのときはショックを受けましたが、確かにその様式はとても使い勝手が良いとは言えないものでした。

それから私は、どうすれば先生方が使いやすいものになるだろうと考え、試行錯誤の末、新しい様式を作成しました。すると、以前「使いにくい」と言っていた先生からすぐに連絡があり、「ありがとう。とても使いやすくなりました。使う人のことを考えたいいい仕事ですね。」とお褒めの言葉をいただくことができました。他の学校からも良い反応がたくさんあり、大変嬉しく感じたのを覚えています。

この「人を意識した仕事」というのは、直接業務に関わることばかりではありません。日常的にも視野を広げ、周りの人のことを気にかけることは大切だと考えています。

例えば、棚などをいつも綺麗に整理してくれている人がいたり、消耗品がなくなったときに補充してくれる人がいたり、円滑な業務の陰には誰かの気遣いがあるものです。

一人ひとりからこのような気付きが生まれ、職場全体で人を意識する気運が高まればよいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月27日(火)
担当者 社会教育課 坂下 大仁

おはようございます。社会教育課の坂下です。

本日は、日頃の業務の中で気付いたことについてお話いたします。私が所属している社会教育課の業務の中で、施設管理があります。もちろんこの時期になると除雪が必要になってきます。屋根が雪の重みで、軒の部分が折れてしまう可能性があるため雪下ろしをしなければならない施設。フェンスの周りを除雪しないと雪の重さでフェンスが倒れてしまう施設。屋根の傾斜が少なく落ちてくるまでに時間がかかり、気づけば氷になっておちてくる施設。このように様々な施設がありますが、どれも除雪をします。

さて、私が何をお話ししたいかといいますと、除雪は人の性格がわかるというお話です。除雪には、やり方はありません。その人が思うようにすることができます。特に屋根の雪下ろしの時は、上の方から地道に少しずつ下の方にためて、最後に一気に落とす人。長い時間やるため、少しずつ成果が欲しくて下の方から随時下ろす人。見た目まできれいにする人。休憩の取り方も人それぞれですし、中には落ちる人もいますが、無言で落ちる人や、声を出して落ちる人もいます。

これらのことを踏まえて、普段の性格と見比べてみても、除雪の仕方そのものです。なので、相手の性格を知るためにも一緒に除雪をしてみたいかがでしょうか。

ちなみに私は、他人の最後のひと押しを横取りし、無言で落ちていくタイプです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年2月28日(水)
担当者 文化課 濱 理絵子

おはようございます。2月最終日の朝のスピーチは、芸術文化ホールの濱が心を込めておおくりします。

北広島市芸術文化ホールと図書館は、今年、平成30年10月、20周年を迎えます。これまでにたくさんの方々に音楽や演劇、読書活動を通して生活の中に素敵な時間を提供してきました。20年も経つのですが、毎日の点検やお掃除などを裏方で細目にしてもらっているおかげで、施設は今のところ問題なく稼働することができます。これは当たり前のことではなく、陰でホールを支えてくれている多くの方々のおかげだということを忘れてはいけません。

仕事をする上で、もちろん仕事だけではなく、生きていく上で、人と人のつながりと支えあいがとても大切で、私はいつも周りのみなさんに支えてもらいながら仕事をしているので、とてもありがたく思っています。そして、支えてもらってばかりの私ですが、市民の皆様のために仕事をして、みんなに気持ち良くこの北広島市に住んでもらえたら私がここで働いている意味があると思えます。

さて、先程にお話しした、北広島市芸術文化ホール・図書館の20周年についてですが、記念講演などを予定しております。「今まで花ホールに行ったことがないわ。」という方も、ぜひ、足をお運びいただけたら嬉しいです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。